

## 教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	奈良教育大学	申請分野(系)	人社系
教育プログラムの名称	「地域と伝統文化」教育プログラム		
主たる研究科・専攻名	教育学研究科		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取組実施担当者	(代表者)上野 ひろ美		

### [教育プログラムの概要]

奈良県は、豊かな伝統文化・文化財に恵まれ、また古く平城京の時代以前から異文化交流の東の拠点として世界に開かれていた。奈良教育大学は、世界遺産「古都奈良の文化財」を構成する東大寺・興福寺・春日大社・元興寺はいずれからも徒歩十分以内のところであり、奈良国立博物館、平城宮跡等も市内に位置している。この恵まれた環境を活かし、本学は従来から奈良の伝統文化・文化財の学術研究の推進とともにこれらを素材とした教材を開発し、特色ある教育内容として位置づけてきた。法人の中期目標にも「特色ある奈良の自然・地域文化に根ざした教育研究」の推進を掲げ、院生が地域の伝統文化・文化財に直接触れる機会を提供し、自らの手で教材化して主体的な実践に高める教育の手立てを蓄積してきた。

本教育プログラムは、日本の伝統文化を見直そうという社会的機運の高まるなか、現代の**知識基盤社会**を多様に支える教育者養成を使命とする本学教育学研究科において、**奈良の伝統文化とその源流について、最新の教育内容学の成果に基づく教材開発、ひいては教授法・学習法の開発ができる高度な力量を形成するプログラムの開発を目的とするものである**。本学で学び教育者を目指す大学院生に、その専門分野のいかに関わらず共通して、弥生～奈良時代に向けユーラシア大陸に向かって開かれた日本文化の中心であり、その後も現代に至るまで広範に規範性を保ち続けた奈良の文化について、学際的・教科横断的な認識・理解をもたせる。このことは、本学の人材養成目的に的確に沿うといえる。

知識基盤社会における教育の現代的・国際的な課題を解決してゆくには、自国の文化に対する知識と正しい認識とが必要不可欠である。このような観点から構想する「地域と伝統文化」教育プログラムは、「**世界の中の奈良 —伝統と継承・発信—**」をコアに据え、「**伝統文化・文化財**」、「**異文化理解**」という二本の柱からなるプログラムによって、教育者を育成しようとするものである。

本教育プログラムにおいては、特定分野における知識・技能だけでなく、関連する分野の基礎的素養の涵養を図り、フィールドでの学びを通して学際的分野への対応能力を形成する。奈良の伝統文化の精華である美術工芸を例にとれば、歴史学・美術史学など人文・社会科学的な素養が涵養され内容的に深化すると同時に、現存する美術工芸作品の詳細な調査に基づく美術工芸模写復元、あるいは現代作品制作へのその応用など実技面からの知見や、材質や成分に関する自然科学的知見などの**学際的知識を応用・総合化する能力(専門応用能力)**が必然的に生まれ、**高度知識基盤社会における専門職業人にふさわしい個別の知識・技能・アイデア**が実践的に束ねられることとなる。また本教育プログラムは、アジアの留学生に対する教育を重視する本学において、日本文化に興味を持つ大学院留学生、とりわけ**教員研修留学生に提供される魅力ある大学院プログラム**としての性格を併せ持っている。

遺跡や古美術・伝統工芸・古社寺・伝統芸能等、奈良のフィールドを活かした伝統文化の理解・継承・発信を演習内容に組み込んで展開することにより、学生の自立的な研究遂行能力やプロジェクトの企画・マネジメント・発表能力を高め、理論的知識を基礎として、実務にそれらを応用する能力を身につけさせることができる。

このプログラムのコアとなる「**世界の中の奈良 —伝統と継承・発信—**」は、専攻・専修横断の**共通授業科目として設定**する。この共通科目は、文化財科学・美術工芸実技・美術史等からなる「**伝統文化・文化財**」、異文化比較・異文化内容学等からなる「**異文化理解**」を骨格とする。さらにこのコア科目を深める科目群が各専修で準備される。本学では、すでに奈良国立博物館等が提供する「**キャンパスメンバーズ制度**」に加入し、大学院授業の中で活用している。

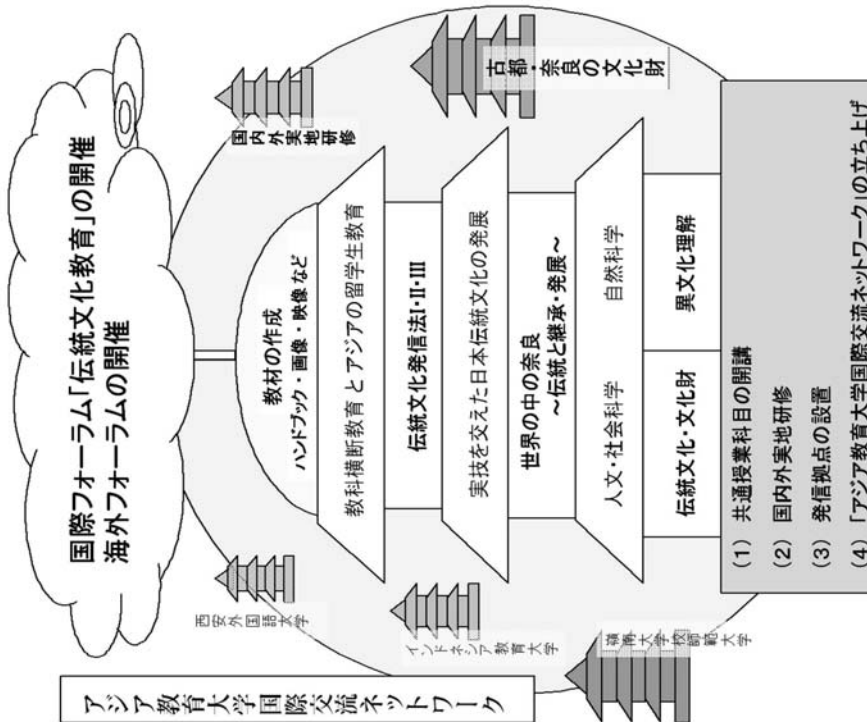
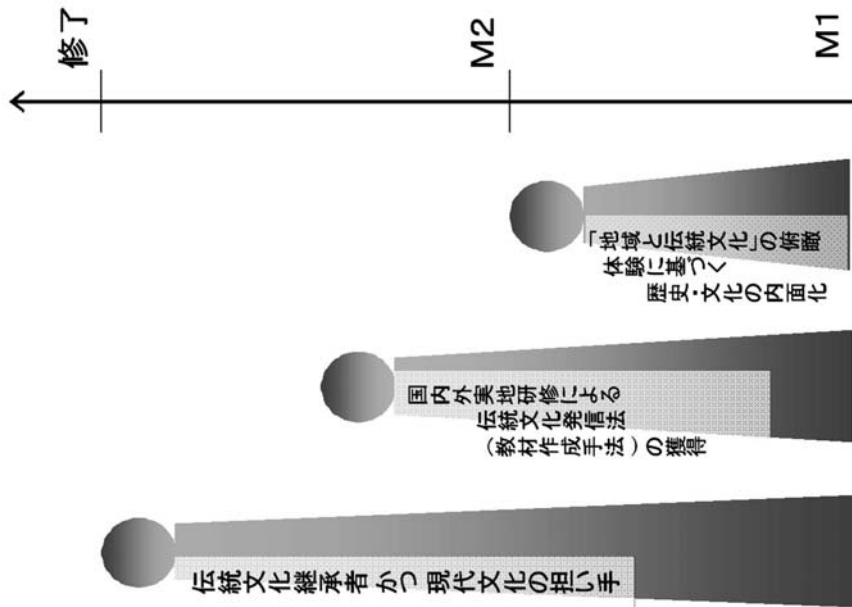
また、この科目を、現在アジアを中心とする諸国から国費留学生として受け入れている現職教員「**教員研修留学生**」プログラムと連動させ、日本人院生と留学生とが豊かなフィールドの中でともに学ぶことにより、アジアに向かって日本の伝統文化を発信することが可能な教員を養成することができる。

さらに中期目標に掲げている「**アジアに重点を置いた国際化**」の観点から、すでに協定を結んでいる嶺南大学校師範大学・インドネシア教育大学・西安外国語大学に加えて、アジア諸国の教員養成大学との新たな協定を視野に入れた**アジア教育大学国際交流ネットワーク**構想が実現する。

本プログラムの実施にあたっては、全学組織としての教務委員会のもとに運営委員会を構成し、**専修横断的なコーディネーターグループ**を確定する。

履修プロセスの概念図（履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。）

「地域と伝統文化」教育プログラム



<採択理由>

本プログラムは、教育大学としての資源と地域の特性を生かし、地域と伝統文化をテーマとした共通コアを設定する点に特色があり、奈良という歴史のある土地に根ざした地域的特質を生かしたプログラムであると評価でき、また奈良から発信する教科横断的共通科目の計画は堅実なプログラム設定といえる。

ただし、教育プログラムの実現に向けて、3専攻それぞれの人材養成目的と共通とされる地域と伝統の体现の関係を明確化すること、「アジア教育大学国際交流ネットワーク」の構築には戦略性をもって取り組むこと、実践科目「伝統文化発信法」の内容をより明確化することが必要である。